

特別講演会

Women's Place in
French Literature

1789年のフランス革命から第一次世界大戦までの時代の女性作家たち（ジャンリス夫人、スタール夫人、ジョルジュ・サンド・・・）が直面した問題を取りあげます。彼女たちの得意とした分野、フェミニスト的活動の多様さ、さまざまな政治的立場、ジャーナリズム、出版界、教育・宗教問題との関わりについて語ります。

講師：Martine Reid（マルティエヌ・リード）（リール第3大学教授）

司会：坂本千代（神戸大学大学院国際文化学研究科教授）

日時：2014年5月19日（月）17:00～18:30 ◎入場無料

場所：神戸大学大学院国際文化学研究科 E棟 4階 410（学術交流ルーム）

講演言語：In English（英語、通訳なし）

講師紹介：19世紀フランス文学研究者。ベルギーのルーヴァン・カトリック大学卒業後、米国イエール大学でPh.D取得。イエール大学、フランスのヴェルサイユ・サン・カンタン・アン・イヴリヌ大学で教鞭をとったのち現職。ジョルジュ・サンド、スタンダールなどについての多数の著作あり。また、ガリマール社 Folio の Femmes de lettres シリーズをとおして、フランス語圏の女性作家の作品を精力的に再刊している。

◎問い合わせ先：

坂本千代研究室（csakamot@kobe-u.ac.jp、Tel: 078-803-7425）

岩本和子（異文化研究交流センター国際部部長、iwamotok@kobe-u.ac.jp）

